

## 探してみましたささやかな贅沢モノ

ふちんかん

テーマを考えた身でありながら、ふと自分の暮らしぶりを考えてみると「ささやかな」贅沢はしてないなあ、と気づいたのであった。

そう、電子機器類を筆頭に、モノに関して私はかなり「贅沢者」である。刹那的衝動的野獣的な買い物ぶりで、もおプチ・スタパ斉藤かと……。

オークションを利用するようになってからというもの、買い換えがすごいスパンになってきた。買ってみて手になじまないと判断したら速攻で市場に回してしまうので、数週間、数日、ひどければ数秒で持ち物リストから消え去ってしまう物もある。

ぜんぜん「ささやか」じゃないよね。

逆にけっこう長めに使っている物を探してみると……

デジカメでは NIKON CoolPix950。もう4年になるかな。といってもデジカメは4台併用していて、CoolPix950は最近では草花撮影専門なのだが。

綿入れ半纏、5年くらいか。もう綿が出てきて今年で引退かな。  
……嫁さん(^\_^;) この印刷の日(3/23)で7年になりますな。

冗談はおいといて、私の持ち物の中でホンマに長いこと使っているのがリュックサックだ。実はもう20年近く使っているのだ。

こいつは千里阪急（私にしては珍しく百貨店）で買った輸入物で、ウルヴァリンというブランド品（私にしては珍しくおブランド品）だ。当時で2万円以上したモノだ。買おうか買うまいか一日悩みぬいて買ったという思い出の品なのだ。

ウルヴァリンってのはアメリカでは有名なウォーキングシューズ屋らしい。靴屋の製品らしく随所に皮を使用し、堅牢な造りをしている。その割には軽いのが良い。

大学時代から旅行のお供に、日常の通勤リュックとして、ずっとずっと使ってきた物だ。

もう一生モノと言っても良いだろう。

このリュックにしてもデジカメにしても、出会った瞬間に「ああこれは一生モノになるなあ」という予感みたいなものがあったように思う。嫁さんもそうだ(^\_^;)

さて、その一生モノのリュックだが、酷使がたたったのか最近ついにチャックが壊れてしまった。全体的にくたびれてきているので、オーバーホールを兼ねて修理に出そうと千里阪急に持っていったのだが、さすがの百貨店でも20年前の取引先との連絡は取れないらしい、数日後に修理不能で返却されてきた。むう。替えのリュックを買うのは簡単なのだが、コイツだけは古い戦友のような思い出がある。旅先での様々な思い出をこのリュックと共有してきたのだ（野宿をしたときには枕にもなった）。何とか修理して使い続けたいと思うのであった。

